

6年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 話す・聞く力を高め、すすんで話したり聞いたりできる児童を育成する。</li> <li>② 語彙を増やし、文章を書く場面や対話の場面に生かせるようにする。</li> <li>③ 自分の考えや思いを言葉に表し、伝える相手のことを考えながら表現しようとする力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 具体的な話し方や聞き方、話し合いの進め方のモデルを示す。自分の考えをもつ時間を確保し、児童の主體的な態度や取り組みを認め、よい点を褒め、全体に広げる。(達成率 80%)</li> <li>② 読書の時間を確保することや、意味調べ等、辞書を活用することを行い、語彙を増やす機会を作る。(達成率 80%)</li> <li>③ 自分の考えを記述する場面を多く設定し、教師の文章を参考にさせ、書くことに慣れさせる。意見文などの文章構成のパターンなどをつかませ、文末表現などを工夫するよう指導する。(達成率 70%)</li> </ul>	<p>(成果)まだまだ語彙が足りないものの、話型等を用いることによってやや話し合いは活発になった。文章を書くこともかなりスムーズになってきたように思える。</p> <p>達成率：B (課題)引き続き語彙を増やし、情緒をより細かく表現できるようになっていくことが必要。</p>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 予想を立て、実験を経て分かったことを理解する力を身に付けさせる。</li> <li>② 身の回りの事象に疑問を見出し、課題を解決する力を養う。</li> <li>③ 安全な器具の使い方を学び、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 予想を立てる際は、互いの意見を交流させる。また、結論や考察では、学習内容と身の回りの事象とを関連付けて書かせ、知識として定着できるようにする。 観察や実験をどのような目的で行うのか、目的意識をしっかりとせ、観察や実験に臨ませる。(達成率 80%)</li> <li>② 全体での交流場面や、友達との交流場面を設定することや、個別に対応する中で言葉を引き出すことで、説明の仕方を身に付ける。(達成率 80%)</li> <li>③ 動画教材による視覚的な理解と説明と実演による実際の使用法の理解を進める。(達成率 100%)</li> </ul>	<p>【成果】日常の事象と関連付け、動画等視覚教材を用いたことによって理解は深まっていった。(達成率B)</p> <p>【課題】交流や説明の場面では、児童間のスキルの差がある。発表でのスライド等のまとめは難しかったように思えた。</p>

<p>社会</p>	<p>① 情報を適切に調べ、まとめる能力を身に付けさせる。</p> <p>② 資料を活用し、気付いたことを自分の言葉で説明できるようになる。</p>	<p>① 写真や地図等の資料を読み取らせる機会を多くもたせたり、友達と考えを交流したりする場面を設定する。Chrome book を活用し、その日の学びや調べた内容をまとめる活動を多く行う。(達成率 80%)</p> <p>② グループ学習やペア学習を取り入れ、全員が自分の考えを発言できる機会を設ける。自分の考えを述べるのが難しい児童に対しては、疑問点を挙げ、それについて話し合う活動にすることで、対話的な学びの場を作る。(達成率 70%)</p>	<p>【成果】自分なりに調べた内容と授業の内容を結び付けることにより、学習への理解はふかまり次回への意欲となっていた。(達成率B)</p> <p>【課題】社会的な出来事の特徴や関連性について自分から考えようとする力。</p>
<p>道徳</p>	<p>① 自分自身の行動を振り返りながら よりよい生活につなげていこうとする、実践意欲と態度を育てる。</p> <p>② 教材を通して自分の考えを表現し、友達と交流することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。</p>	<p>① 児童の体験したことや振り返りを具体例として話し合いに生かし、学習したことを日常生活の実践につなげている場面を認める。日常生活でも学習内容を想起させ、友達のよさを見付けながらよりよい人間関係を築き、生活態度を改善していけるよう促す。</p> <p>② 自分の考えをもつ、書く、友達と交流する時間を十分に確保する。書くのが難しい児童には、教師が問い返したり、キーワードを示したりするなどして、表現する力を養う。</p>	<p>【成果】学習から自分自身を振り返ることができる児童が増えた。意見交流から、考えを広げられる児童が増えた(達成率B)</p> <p>【課題】実生活に直接つなげていこうとする意識が低い児童もいる。</p>